

夏 深 し

染谷秀雄

北上川の涼しかりけりせいご釣
封人の家の炙り香灯涼し
刈草の流れてきたる分水嶺
どちら行く分水嶺のあめんぼう
はととぎす湯掘櫓を遠く見て
背の上に乗り遅れたる鳩の雛
井戸水を汲んで佃の金魚かな
大暑なり木椅子があればすぐ坐り
みんみんの初鳴きを聴く木椅子かな
沼杉の氣根百態蝉時雨